

(別紙1)

事業報告書

事業名	「ユニパスバンク不登校編」作成と居場所ミーティング開催
申請分野	子どもに関する支援や子どもの健全育成を目的とする事業 分野指定寄附（子ども分野）
目的	<p>※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。</p> <p>「ユニパスバンク不登校編」作成は、不登校になった子どもの保護者や先生に<u>不登校時の対応と学校以外の居場所を知ってもらう</u>ことを目的としています。</p> <p>居場所ミーティング開催は、①<u>居場所運営者同士の横のつながりを促進し、それぞれの長所やスキルを共有すること</u>、②<u>利用者に居場所の内容を知ってもらう</u>ことを目的としています。</p> <p>*ユニパスバンクとは、ユニークなパス（道）を生きる人のための登録コミュニティ（バンク）のことで、不登校、長期入院、逆境体験、精神疾患等を経験した人たちを対象とし、つながりあうことで安心と希望をもって生きることができます。</p>
事業実施の地域及び対象者	<p>※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。</p> <p>香川県内全域の不登校（およびその予備軍）児童とその家族。統計的には1,500人の不登校児童、8,000人の隠れ不登校児童（教室外登校、登校しているが毎日学校を休みたいと考えている児童）。全小中学校、高校の教師や支援者、県内の居場所事業者。</p>
具体的な事業内容	<p>※実施した事業内容について、具体的に記載してください。</p> <p>① 「ユニパスバンク不登校編」の作成 内容は主に①子どものこころの波から理解する不登校、②家庭と学校における子どもへの適切な対応、③学習の遅れ、筋力低下、ネットゲームの過剰使用、体調不良などに関する専門家からの助言、④子どもの居場所や親の会等の紹介、⑤不登校児を診る医師リストです。紹介原稿は各団体・医師に執筆してもらいました。また当事者や保護者の体験談も掲載しました。全部で<u>80ページの冊子を4,000部作成</u>しました。</p> <p>② 居場所ミーティングの開催 上記で取り扱う居場所等の発表会をオンライン開催し、横のつながりを促しました。発表は録画編集し、ホームページを通して居場所運営者と利用者の方々が<u>オンデマンド視聴</u>できるようにしました。</p>
事業実施の果	<p>※事業の実施がどのように今後の法人活動の活性化や基盤強化につながるのかを具体的に記載してください。</p> <p>不登校や登校渋りのある児童生徒の対応に悩んでいる保護者や支援者に有益な情報を届け、適切な対応を促すことができました。結果的に親子関係の悪化を長引かせない、または予防でき、<u>子どもの抑うつ症状の軽減と心の回復が早まる</u>ことが期待できます。また、地域の子どもの居場所を大きく周知することにより、<u>地域のリソースを十分活用でき、活動の継続を促す</u>ことにつながります。また、居場所ミーティングにより横のつながりができて、他の居場所の長所やスキルを取り入れたり、活動を紹介しあうことができ、<u>居場所の質の向上</u>につながることが期待されます。実際に居場所関係者同士で訪問しあった等の報告を受けました。</p>

備 考	<p>※その他、特にPRしたいこと等があれば記載してください。</p> <p>周知活動については、やみくもに学校へ配布するのではなく、県内に5カ所の配布拠点（高松市：高松市総合教育センター、小豆島：ホットスペース「ショウ z'」、東讃：香川大学医学部、中讃：ペアレントメンターかがわ、西讃：子育て応援 NPO フレンズ）を設置し、そこに必要な人が取りに行くようにしました。</p> <p>また、拠点の担当者が地域の社協や教育委員会などの行政機関、子育て支援や教育関係の機関に直接配布に行くこともあり、自らの居場所の周知や情報交換などを通し、横のつながりを促進することができたと報告を受けています。配布拠点の周知は SNS 等を用いました。</p> <p>冊子完成時にはお披露目会を開催し、原稿執筆者、支援者、子どもの居場所の運営者、不登校当事者家族に冊子の紹介配布と執筆者の挨拶や地域の関連する活動の PR、自由な交流活動を行いました。この会は当初予定していませんでしたが、50 人以上が集まり、大変盛況で有意義な会でした。</p>
--------	--

(注) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
2023年 5月～	居場所の取材、ユニパスバンク不登校編の企画説明、原稿依頼を10月までスタッフで手分けして継続実施	スタッフ	10人
6月21日	居場所ミーティング①Zoom (ふおる家、フリースペース@三木町、不登校と行き渋りの親の会 ippo) 終了後、録画動画を編集、ホームページにアップする 振り返りの会	居場所運営者、保護者 スタッフ	30人 (オンデマンド視聴者 31~52名) 5名
9月15日	居場所ミーティング②Zoom (クリエイトインターナショナルクリスチャンスクール、フリースペースじゆうだ、すまいるカフェ) 終了後、録画動画を編集、ホームページにアップする 振り返りの会	居場所運営者、保護者 スタッフ	20人 (オンデマンド視聴者 25~115名) 5名
10月	原稿の校正を1月まで継続	スタッフ	10名
12月11日	居場所ミーティング③Zoom (齋藤裕司先生、未来 ISSEY のマイスターズスクール) 終了後、録画動画を編集、ホームページにアップする 振り返りの会	居場所運営者、保護者 スタッフ	20人 (オンデマンド視聴者 46~63名) 5名
2024年 1月	原稿校正、冊子印刷、執筆者に配送作業	スタッフ	10名
2月	配布拠点ミーティング、配布作業	居場所運営者	15人
2月23日	ユニパスバンク交流会	支援者、執筆者、当事者	40人
2月28日	居場所ミーティング④Zoom (一般社団法人 hito.toco) 終了後、録画動画を編集、ホームページにアップする 振り返りの会	居場所運営者、保護者 スタッフ	20人 (オンデマンド視聴者 不明) 5名

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★ 996,136	
自己資金計	0	①+②+③+④
① 参加料収入	0	
② 会費等	0	
② 寄附金等	0	
③ その他	2,166	※内容を具体的に記載してください。 法人会計より
その他助成金等収入計	0	①+②+③
0	0	
0	0	※内容を具体的に記載してください。
その他資金収入		
合 計	998,302	

(注)その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
冊子印刷	497,400	497,400	80 ページの冊子 4,000 部 2 か所郵送代 1,200 円×2
画像編集、周知チラシ作成	51,500	51,500	1,500 円×10 時間×1 回、1,500 円 ×7 時間×3 回、チラシ 6,000 円
校正人件費	70,000	70,000	1,000 円×70 時間
原稿整理作成費	153,000	153,000	1500 円×102 時間
仕分け配送人件費	10,000	10,000	1,000 円×10 時間
取材・ミーティング 交通費	20,910	20,910	高速料金、ガソリン代
郵送費	36,070	36,070	切手、封筒、レターパック 50、 宅配代 1,010 円
執筆費	69,000	69,000	18 人分：10,000 円×2、5000 円× 6、2000 円×9、1000 円×1
イラスト代	84,500	84,500	表紙、冊子内ブラフ、イラスト
2/23 交流会費用	5,922	3,756	部屋代、駐車場代
合 計	998,302	★ 996,136	

★の金額は一致するようにしてください。

(注) 補助申請事業についての収支精算額を記入してください。